

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	16HP2009	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
編集体制の強化・論文の部分的オープンアクセス化による国際情報発信の強化		一般社団法人 日本菌学会	会長 山岡 裕一
学術刊行物の名称			(略称)
Mycoscience			

【平成 30 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>2013年にエルゼビア社と出版契約を締結して以降、海外からの投稿が増加の一途にある。この状況に対応するために編集体制を強化し、出版までの期間短縮などに成功している。</p> <p>海外からの投稿増加を契機に、海外の関連学会との連携強化を図り、アジア菌学会2019を日本に誘致するなど、日本菌学会の国際発信力強化に成功している。</p> <p>論文数増加時に生じやすいインパクトファクター低下を回避するため、新種、新記載種を本誌とは別の方法で公開するなどの工夫を凝らし、一定の効果を挙げている。アクセス数も着実に増加している。</p> <p>一方、オープンアクセス論文の掲載数は僅少であるため、今後一層の工夫を期待する。</p>	